CHOSHO

長野商業野球部 創部100周年

～あと4年100年分の勇気と感謝～

輝かしい伝統と、偉大なる諸先輩方を数多く輩出し、県下県立高の雄として長野県の高校野球の一翼を担ってきた本校長商野球部が、2021年(平成33年)に創部100年を迎えます。その間、選抜３回、選手権８回、計11回の甲子園出場を果たし、最高成績はベスト４、戦前はまさに長商野球の黄金時代でありました。

しかし、戦後、私学の台頭により選抜１回、選手権１回と長い低迷期に突入してしまいました。県内外有望選手の獲得、入試の条件、設備環境の違い等、私立と県立の差はますます拡がっていくばかりです。そもそも甲子園とは地元の選手が、地元の代表として、県民の希望と共に甲子園の土を踏みしめるものでありました。故郷の誇り、地域の思いを背にして戦い抜く、まさに母校愛が郷土愛でありました。

このように、高校野球を取り巻く環境が激変する中、古豪復活を胸に４年後の100周年に向けて、強固な意志と高い意識で、選手権35年ぶり、選抜19年振りの聖地を目指しております。長野県の選手では甲子園に行けないのか？長野市の選手では甲子園は不可能なのか？県内外の選手を集めなければ甲子園に行けないのか？そんなことはないと思います。情熱を燃やして、心を磨き、体を鍛え、技を極めていけば、必ず運が巡ってくると信じています。「踏まれても根強く忍べ道芝よ、やがて花咲く春のくるらん」教育者として、勝負師として人生における大一番に果敢に挑む覚悟です。そして、長商野球部が再び輝きを放つであろうこの創部100周年というタイミングで、監督をやらせていただけていることに最大の感謝をし、与えられた使命を全力で全うします。

最後になりましたが、地域の皆様方、OBの皆様方、学校関係者のご理解とご尽力を賜り、長野のために、長野商業のために、長商野球部のために、創部100周年を機に大輪の花を咲かせ、その後に繋げたいのです。地域の皆様方のご理解とご支援をよろしくお願い致します。

長商野球部理念

地域に愛され　ＯＢに愛され　学校に愛され
日本の文化である高校野球を通して　社会に勇気と希望を送り続け
最後まで粘り強く　あきらめない姿で
感動を与える日本一のチームになる

長野で生まれ　長野で育ち　長野で挑む　長野から甲子園！

長野県長野商業高等学校

〔選抜高校野球大会〕

大正14年	2回	長野商(1)	1回戦敗退	○ 2－12 第一神港商
昭和7年	9回	長野商(2)	ベスト8	● 2－0 早稲田実 ○ 0－8 中京商
平成12年	72回	長野商(3)	2回戦敗退	● 6－5 岩国 ○ 6－8 鳥羽

勝敗：2勝3敗〔最高成績：ベスト8〕

〔全国高等学校野球選手権大会〕

大正14年	11回	長野商(1)	2回戦敗退	○ 2－5 大連商
昭和6年	17回	長野商(2)	2回戦敗退	● 2－1 大分商 ○ 2－5 小倉工
昭和7年	18回	長野商(3)	ベスト8	●16－1 千葉中 ● 6－0 遠野中 ○ 2－7 中京商
昭和9年	20回	長野商(4)	1回戦敗退	○ 1－5 呉港中
昭和11年	22回	長野商(5)	1回戦敗退	○ 4－27 静岡商
昭和12年	23回	長野商(6)	ベスト8	● 6－4 山形中 ○ 0－9 中京商
昭和14年	25回	長野商(7)	ベスト4	● 2－1 東邦商 ● 4－2 関西学院中 ● 3－2 早稲田実 ○ 2－3 下関商
昭和58年	65回	長野商(8)	1回戦敗退	○ 1－2 興南

勝敗：7勝8敗〔最高成績：ベスト4〕甲子園通算勝敗9勝11敗

〔近年の戦績〕

平成25年選手権長野県大会　準優勝　（9－10 佐久長聖）
平成26年秋季北信越大会　ベスト4（6－11 福井工大）※長野県大会初優勝
平成27年秋季北信越大会　ベスト8（5－6 日本文理）※長野県大会準優勝
平成27年春季北信大会～平成29年秋季北信大会　6連覇

長野県長野商業高等学校　nagano shogyo high school

〒380-0872　長野市妻科２４３
電 話（０２６）２３４－１２６５
FAX（０２６）２３４－０８７５　Mail：chosho@nagano-c.ed.jp
野球部長：赤須　健士／監督：池田　剛幸／ＯＢ会長：岡田　良之